

ピンチのおとも展



悩みごととはしんどいものです。

しかし、悩みごとがあることで、いろんなひとと知り合ったり、つながったりすることもあります。確かに悩みごとはないに越したことはありません。

それでも生きていれば、悩みごとはやってきます。せっかく起きた悩みごとなので、それをおとして、いろいろなつながりが広がればいいなと思い、この小さな冊子、『ピンチのおとも』を編んできました。

『ピンチのおとも』誌は、北海道新聞で読者の悩みごとに、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターの研究者が応えるという企画をはじめて3年目に、記事がたまったので冊子にしようということではじまりました。ただの冊子にするだけではつまらないということで、いろんなコトバやイラストと一緒に並べてみることにしました。その後、この29文字もある機関でいったい何が行われているのか、その研究内容も紹介しようと、企画を増やし、現在に至っています。

冊子の刊行は、vol.4で一段落なのですが、今度はせっくなので、その内容をさらに広く知ってもらいたいと思い、この『ピンチのおとも』展を企画しました。悩みごとではありますが、それをおとして、孤立するのではなく、さらに多くのひとたちが知り合い、つながっている、そのきっかけの1つに『ピンチのおとも』がなれるといいなと願っています。

加藤 弘通（教育学研究院・准教授）



お問い合わせ

北海道大学・子ども発達臨床研究センター

mail rcccd-hu@edu.hokudai.ac.jp

web <https://www.edu.hokudai.ac.jp/rcccd/>

